

受賞者の取り組み

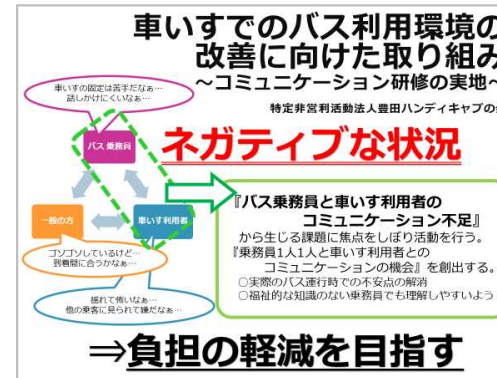
- ◎ 車いす利用者の福祉有償運送や自立生活への支援活動を行っている。
- ◎ 車いす利用者の**バス固定にかかる時間**については、ノンステップバス導入当初から懸念されていた。このことから、実際の路線での調査や平成24年度から毎年1回から2回、とよたおいでんバスの利用環境について、豊田市とバス 運行事業者と意見交換を重ねてきた結果、バス乗務員が「障がいのある方への声かけが難しい」「車いすの固定に 時間がかかってしまうことが申し訳ない」と感じていることが把握できた。
これについて乗務員と車いす利用者が**コミュニケーションをとることが、お互いの心理的負担を軽減すると考え、「とよたおいでんバスコミュニケーション研修」**における研修プログラムの開発につながった。
- ◎ トヨタ自動車(株)と**福祉車両の体験会**を実施。**車いす利用者との交流を通じ、実体験に基づいた開発車両の改善**につなげている。またユニバーサルデザインタクシーへの車いす乗降について、自動車メーカーやタクシー事業者へヒヤリングを行い、**乗降環境改善**について意見交換を継続している。
- ◎ 車いす利用者が安心して外出にバスを利用することができる環境づくりや、交通事業者の接客サービス向上など、地域交通のバリアフリー化を**交通と福祉のまちづくり**の視点からも推進した。



福祉車両の体験会



UDタクシー乗車体験



車いすでのバス利用環境の改善



コミュニケーション研修

受賞者の取り組み

- ◎ 松阪市市街地の**バリアフリーマップ**の作成に団体の設立当初(平成14年)から取り組んでいる。**企画、現地調査、制作、配布という一連の活動を継続**しており、バージョンアップを重ね平成29年には、第4版を2,000部作成した。また、**視覚障害のある方に向けた音声版バリアフリーマップ**や、フィリピン出身住民の増加といった松阪地域に対応するため**多言語版バリアフリーマップ**(タガログ語、英語)も作成した。これらは松阪市役所、観光案内所にて配布している。
- ◎ 平成14年からハード面、ソフト面両方による**団体独自の基準で募集**した、松阪市及び近隣市町の民間施設や店舗に**バリアフリー推進優良認定証**のパネルやバリアフリー推進協力店のステッカーを交付、表彰、その際に表彰内容を地元新聞に発表することで地域からの注目を得られるようにしている。
- ◎ **防災訓練**で、**要援護者の搬送**や**視覚障害者の誘導**などを地元自治会や消防と連携して実施、得られたノウハウを**DVD化**し希望者に配布した。
- ◎ 平成15年から松阪市及び隣接市町の小中学校等に出前授業、地元の交通事業者や民間事業者と連携して高齢者体験講座を、当事者の講話、疑似体験、ワークショップにより**実践的な体験**による気づきを得ることに重点をおいて実施している。
- ◎ 多言語版バリアフリーマップ、音声版バリアフリーマップの作成、バリアフリー推進優良認定証の表彰をはじめとした活動をとおして、観光など含めた地域のハード、ソフト両方でのバリアフリー化の推進に寄与し、また、バリアフリーの観点による地域の防災力の向上に寄与した。



タガログ語のバリアフリーマップ



バリアフリー推進優良認定証

受賞者の取り組み

- ◎ 市内のユニバーサルデザイン(UD)活動団体間の連携を深め、行政等の関係機関との協働によるUDの普及・啓発の推進を目的に、3つのUD活動団体、津市ボランティア協議会、津市社会福祉協議会が結集して平成21年に設立された団体で、**事業の企画運営、事務局運営も自ら行っている**三重県内唯一の事例。
- ◎ **小中学校等**でUD講座を行い、UDについての基本的な知識の講習だけでなく、障がいを持つ当事者の講演に、**疑似体験、ワークショップを取り入れた体感できる講座を展開**している。平成30年度末で**延べ受講者数が19,000人**となった。
- ◎ 講座を通して児童生徒がUDについて学んで、自ら考えたことを発表する場として**UD発表会**を開催して、平成30年度末で参加校が30校となった。UD発表会の参加者だけでなく、保護者や一般市民も参加し児童生徒の発表を聞いており、この他、介助犬・聴導犬のデモンストレーション、車いす・高齢者・妊婦体験、UDグッズの啓発などを行い、**幅広い層が一同に集まってUDについて考える**機会を作っている。
- ◎ **特に公共施設の新規整備**に際しては、**基本設計の段階**からUDの視点で必要な配慮や改善すべきポイントなどについて、市、事業者等の関係者と意見交換、助言等を行っている。
- ◎ **津市職員へ**の新規採用職員研修、2年目職員向けの階層別研修でUDに関する研修を実施している。
- ◎ UDに関連する**団体や津市が強く連携し協力しあうこと**で、自主的で一定規模の活動が継続して行われており、地域のUDやデザインや心のバリアフリーの普及に寄与している。



発表会での妊婦体験コーナー

受賞者の取り組み

- ◎ アウトドア宿泊交流体験施設「キャンプinn海山」を拠点に、関係団体や紀北町等と連携しながら、障害者や小さな子ども連れファミリーなども川遊びなどの**自然体験が楽しめるよう、施設のバリアフリー化**、心のバリアフリーに取り組み、利用者の満足度の向上、新たな需要開拓、ひいては紀北町全体のバリアフリー観光の推進に寄与している。
- ◎ カヌー乗り場のスロープ、無料で利用出来る水陸両用車いすを整備し、小さな子どもや障害者が川遊びを楽しめるよう工夫し、バリアフリー対応のコテージや多目的トイレ、施設敷地内周遊路のアスファルト舗装など**施設内の面的なバリアフリー化**に取り組んだ。
- ◎ バリアフリー情報を施設のホームページに特設ページを設けて紹介し、利用者の問合せに対して「**お客様がしたいこと**」を叶えられるよう個別相談に親身に応じている。こうした対応を行う従業員の教育のため自主的な研修を行うほか、他団体が開催する研修会へ積極的に参加するなど従業員のバリアフリーに関する意識の向上に努めている。
- ◎ 銚子川エリア全域におけるバリアフリー対応の推進や、観光事業者等への啓発など、**紀北町全域のバリアフリー観光の推進**に寄与している。



水陸両用車いす



敷地内周遊路



カヌー乗り場スロープ